

2

大学でのノートのとり方

Japanese Expressions

授業を再現できるノートをとろう

大学では、今まで以上に「自発的に学ぶ」ことが求められます。この章では、大学での学びにふさわしいノートのとり方について学んでいきます。

早速【課題1】に取り組んでください。

▶ 3ページへ

【課題 1】

自分のノートのとり方について、分析してください。

🗣️「自発的に学ぶ」スタイルへ

「ノートのとり方」と聞いて、「何を今さら」と感じている人もいるかもしれません。しかし一方で、高校の頃までとは違って、ほとんど板書をしてくれない授業や、ノートをとる時間を取ってくれない授業も多いことに、とまどっている人もいるでしょう。大学でのノートのとり方は、どのような点に気をつける必要があるのでしょうか。

大学では、「自発的に学ぶ」ことが求められます。ですから、授業中も、教員の話を受身で聞くのではなく、自分の中で咀嚼し考えながら聞くことが重要となります。そのキーとなるのが「ノートのとり方」です。ノートのとり方も「自発的に学ぶ」スタイルにしていく必要があるのです。

それでは、「自発的に学ぶ」スタイルとはどのようなものなのでしょうか。【課題1】のチェックポイントに沿って、確認していきましょう。

🗣️話の要点を逃さない聞き方

ノートをとる目的は、授業内容をあとで思い出せるように記録することです。ですから、「いつの講義内容か」が分かるよう授業前に日付をノートに記入するなど、授業の前からノート作りは始まります。そして、授業中は、「板書も参考にしながら教員の話す内容を書きとる」ことが重要です。

しかし一方で、授業中、教員の話全部書きとることは不可能です。また、全部書けたとしても、それではポイントが絞られないノートになってしまうので、ノートのとり方としては適切ではありません。授業の要点を聞き漏らさず、「授業の

ポイントを分かりやすくノートにとる」ことが重要となります。

では、どのようにすれば話の要点を逃さずに聞くことができるでしょうか。

ノートをとるための時間が用意されないことも多い大学の授業では、「聞きながら書く」スピードを身につける必要があります。これは練習を積むしかないところもありますが、記号や略字を使うなど自分なりの工夫をしてみましょう。社会に出ると、書きとめる時間を確保してくれるような場面はまずありません。社会に出てから困らないよう、大学生のうちに「聞きながら書く」ことを身につけましょう。

話の要点を逃さないためには、「だから」「なぜなら」「つまり」といった接続表現に注目してみることも大切です。「だから」が来たらその後は「結果」、「なぜなら」は「理由」、「つまり」は「言い換え」というように、次に来る部分には重要な内容が来ることが多くなります。「一つ目、二つ目」「まず、次に」といった表現も、何点の事柄が話されたのかを示す重要な手がかりとなります。

また、話し方にも注目してみましょう。例えば、「繰り返す」「強調して言う（ゆっくり言う・強く言うなど）」「身振りが伴う」などの箇所は、教員が「伝えたい」と考えている箇所であることが多いものです。そういった点にも注意しながら、話の要点を逃さない聞き方の練習を重ねることが大切です。



大学でのノートのとり方のポイント①

—話の要点を逃さない聞き方—

- 記号や略字などを工夫してノートをとる
- 接続表現に注目する
 - ・だから、それで、したがって = 結果
 - ・なぜなら、というのは = 理由
 - ・まり、すなわち = 言い換え
 - ・まず、次に = 順序
- 話し方に注目する
 - ・繰り返すところ
 - ・強調して言うところ
 - ・身振りが伴うところ

🗣️「復習」まで含めたノート作りへ

実際の授業では、聞き漏らしてしまった箇所や分からないことも出てくると思

います。そのときには「そのままにせず補う」ことが重要です。授業中に分からないことがあったら、授業後に教員に質問して解決しましょう。同じ授業に出ている友達に聞くなどしてもよいでしょう。「聞きっぱなし」にせず、積極的に授業内容を理解することが「自発的な学び」の第一歩です。

帰宅後も「ノート作り」は続きます。これまで「ノートの読み返しは試験前のみ」ということはなかったでしょうか。復習は「その日のうちに」が鉄則です。記憶の鮮明なうちにノートを読み返して、授業内容を思い出し、足りないところを補ったり、分からない箇所について調べて書き込んでおくともよいでしょう。また、配布資料もその日のうちに授業名や日付を書き込み、ファイルに綴じたりノートに貼りつけたりして、しっかりと整理しておくことが大切です。

大学の授業では、参考文献を紹介することも多くあります。それらを書きとって、実際に読んでみるなど、一步踏み込んだ復習を行うことで、授業内容をより深く理解することができ、「自発的な学び」に繋がっていきます。

なお、授業によっては、配付資料に書き込める場合もあるでしょう。資料に書き込んでいくか、別にノートを作るかは、授業によって判断すればよいと思います。しかし、どちらを選択したにせよ「自発的な学び」の姿勢は同じです。「復習まで含めた」ノート作りを心がけることが大切です。



大学でのノートのとり方のポイント②—ノートの工夫—

- 板書だけでなく、教員の話の要点を分かりやすくまとめる
- 分からないところはそのままにせず、調べたり教員に質問するなどして、復習のときに補う
- 復習はその日のうちに
- 配布資料に授業名や日付を書き込み、整理を忘れずに
- 参考文献などをメモし、あとで読んでみるのもよい

ルーズリーフとノートとどちらがよいのかについては、それぞれ一長一短があります。ルーズリーフは、配付資料なども一緒に綴じられ、復習で調べたことなどを挟み込めるので便利ですが、ばらばらになりやすいので、しっかり整理できるかどうか心配な人は、ノートの方がよいということもあります。自分のスタイルに合わせて選択しましょう。

では、これまでの内容を確認するために、【課題2】の2-1をしてみましょう。

☞ 4ページへ

《ノート例1》

4/27	
自発的な学び	
要点	咀嚼
だから	
最初に	

《ノート例2》

2008.4.27 「ノートのとり方」	《補足・復習》
・大学での学び = 自発的な学びの必要	
↓	
ノートのとり方が重要	
・ノートをとる目的 = あとで授業を思い出すため	
↓	
①要点を逃さず書きとる	Q スピードを上げる方法は？
・書くはやさ	→ 先パイに聞く
・接続表現	Q 接続表現の種類は？
・声、身振り	→ 本?? 質問する

《ノート例1》と《ノート例2》の例を比較することで、「ノートのとり方」のポイントを確認することができたでしょうか。

それでは最後にもう一度自分のノートを振り返り、「授業を再現」でき、「自発的な学び」に繋がるノート作りのために気をつけたい点をまとめてみましょう。【課題2】の2-2をしてください。 ☞ 4ページへ

所属 _____ 年 ____ 月 ____ 日

番号 _____ 氏名 _____

2

Japanese Expressions

スキルアップ編 第2章 ▶ 大学でのノートのとり方

【課題1】 自分のノートのとり方について、分析してください。

日付を書いているか	書いている ・ 書いていない
教員の話す内容を書きとっているか	書いている ・ 書いていない (板書だけ)
授業のポイントが分かりやすく書かれているか	とても分かりやすい ・ まあまあ ・ 分かりにくい
分からなかった点を解決しているか	解決している ・ 解決していない
どのように解決したか (具体的に記入)	
復習をしているか	している ・ していない
復習で書き込んだ内容は何か (具体的に記入)	
ノートを見て授業内容をだいたい再現できるか	だいたいできる ・ 半分くらいは ・ ほとんどできない
その他気づいた点 (具体的に記入)	

終わったら  8ページへ

所属 _____ 年 ____ 月 ____ 日

番号 _____ 氏名 _____

2

Japanese Expressions

スキルアップ編 第2章 ▶ 大学でのノートのとり方

【課題2】 2-1

テキスト11ページにある《ノート例1》と《ノート例2》は、いずれもこの章の内容をノートにまとめたものです。それぞれについて、どういう点がよいのか、またどういふ点を改善すべきなのか、挙げてください。また、それをふまえて、どちらの方がよいノートと言えるか、考えてみましょう。

《ノート例1》

《ノート例2》

終わったら  11ページへ

【課題2】 2-2

今までの課題をふまえて、もう一度自分のノートを振り返り、どのような点に気をつければさらによいノートになるか、これから工夫してみたいことなどをまとめてください。

所属 _____ 年 ____ 月 ____ 日

番号 _____ 氏名 _____

基礎ドリル [1] 敬語の語形

A [例] にならって、下線部の表現を、尊敬語を使った形に直してください。

[例] お二人は税金の問題に大変詳しい。 → お詳しい／詳しくていらっしゃる

[1] あの先生は手がけている領域が幅広い。 → _____

[2] 先生は猫を飼っているんですね? → _____

[3] 書類を確認してくれますか? → _____

B [例] にならって、下線部の表現を、謙譲語を使った形に直してください。

[例] 今度コンサートに招待します。 → ご招待 (いた) します

[1] 私が駅まで迎えに行きます。 → _____

[2] 詳細は昨日説明した通りでございます。 → _____

[3] 明日電話してもらえますか? → _____

C 以下の文を、「お客様」を尊敬すべき人物であるとみなして、[例] にならって尊敬語・謙譲語・丁寧語などを使い、適切な言葉遣いに直してください。

[例] 「(お客様の) 荷物を預かろう。引換証を渡すので、帰るときに出してくれば荷物を返すよ。」

→ お荷物をお預かりいたしましょう (いたします)。引換証をお渡しいたしますので、お帰りの際にお出しただければ (お荷物を) お返しします。

[1] (お客様に対し) 「今日は来てくれてありがとう。これから会場まで私が案内する。気になることがあったら言ってくれ。」

→ _____

[2] 「お客様が探しているカバンはどのようなものか? 特徴を言え。」……「分かった。見つかったら連絡するので、連絡先を言え。電話番号、できれば携帯電話の番号も教えてほしい。」

→ _____

所属 _____ 年 _____ 月 _____ 日

番号 _____ 氏名 _____

基礎ドリル [2] 仮名遣い・漢字と送り仮名

A 次の語を平仮名で書いてください。

- | | |
|-----------------|------------------|
| [1] 小包 _____ | [2] お小遣い _____ |
| [3] 著しい _____ | [4] 間近 _____ |
| [5] 頷く _____ | [6] 縮む _____ |
| [7] 通り _____ | [8] 灯台 _____ |
| [9] 若人 _____ | [10] 憤る _____ |

B 次の下線部の読みを書いてください。

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| [1] 災害の義捐金を募 <u>る</u> 。 _____ | [2] 任地に赴 <u>く</u> 。 _____ |
| [3] 準備を怠 <u>ら</u> ないようにする。 _____ | [4] 礎を築 <u>く</u> 。 _____ |
| [5] 閲覧室で本を <u>読</u> む。 _____ | [6] 隔世の感がある。 _____ |
| [7] 必携の <u>書</u> 。 _____ | [8] 雰囲気 <u>の</u> よい店。 _____ |
| [9] 玄関を施錠 <u>す</u> る。 _____ | [10] 雪崩 <u>の</u> 被害。 _____ |
| [11] 自分の意見を翻 <u>す</u> 。 _____ | [12] 彼の実力を目 <u>の</u> 当たりにした。 _____ |
| [13] 言質 <u>を</u> とる。 _____ | [14] 貸し借りを相殺 <u>す</u> る。 _____ |
| [15] 辞書の凡例を確 <u>認</u> する。 _____ | [16] 懸念 <u>を</u> 抱く。 _____ |
| [17] 風情のある町並み <u>を</u> 歩く。 _____ | [18] 株価が為替相場 <u>に</u> 影響する。 _____ |
| [19] 漸次回復に向 <u>か</u> う。 _____ | [20] 安穩 <u>に</u> 暮らす。 _____ |

C 次の下線部を漢字で書いてください。送り仮名が必要な場合は送り仮名も書いてください。

- | | |
|---|--|
| [1] 委員をい <u>し</u> よくする。 _____ | [2] 会議に <u>は</u> かる。 _____ |
| [3] よく <u>よ</u> うをつけて読む。 _____ | [4] 会員の <u>り</u> ょう <u>し</u> ょうを得る。 _____ |
| [5] 任務をす <u>い</u> こうする。 _____ | [6] 仕事 <u>が</u> と <u>ど</u> こおる。 _____ |
| [7] ま <u>ぎ</u> らわしい書き方をする。 _____ | [8] <u>き</u> っさ <u>て</u> んに行く。 _____ |
| [9] 人権を <u>よ</u> う <u>ご</u> する。 _____ | [10] <u>か</u> く <u>ご</u> を決める。 _____ |
| [11] <u>い</u> ち <u>ま</u> つ <u>の</u> 不安を感じる。 _____ | [12] <u>ち</u> ゅう <u>し</u> んより感謝致します。 _____ |
| [13] 状況を <u>て</u> き <u>か</u> く <u>に</u> 判断する。 _____ | [14] <u>じ</u> ん <u>そ</u> くに対応する。 _____ |
| [15] 店が <u>は</u> ん <u>じ</u> ょうする。 _____ | [16] 記念式典を <u>も</u> よ <u>お</u> す。 _____ |
| [17] <u>あ</u> た <u>た</u> かな気候に暮らす。 _____ | [18] 子どもを <u>い</u> つ <u>く</u> し <u>む</u> 。 _____ |
| [19] <u>は</u> な <u>は</u> だ残念なことだ。 _____ | [20] 委員に <u>す</u> い <u>せ</u> んする。 _____ |

基礎ドリル [1] 敬語の語形 - 解答例 -

- A [1](例) 幅広くていらっしゃる
[2](例) お飼いになっていらっしゃるの(ん)ですね
(例) 飼っていらっしゃるの(ん)ですね
(例) お飼いな(ん)ですね
「お飼いになっていらっしゃる」は許されない二重敬語のように言われることもあるが、接続助詞「て」の前後にある場合は2つの敬語形があってよいとされる。
- [3](例) ご確認くださいか
「ご確認くださいませか」は「ご確認ください」の部分が謙譲語にあたるので不適切。また、「ご確認くださいませか」は該当文脈に当てはまるという意味ではよいが、設問が「尊敬語を使った形に」となっているので厳密には不正解(「いただく」は謙譲語)。
- B [1](例) お迎えにまいります (例) 迎えにまいります
(例) お迎えにあがります
[2](例) ご説明申し上げた (例) ご説明申し上げました
(例) ご説明いたしました
[3](例) お電話いただけますか (例) お電話をいただけますか
「お電話していただけますか」は「お電話して」の部分が(相手の行為であるのに)謙譲語なので不可。
- C [1](例1)「今日はいらっしゃってくださりありがとうございます。これから会場まで私がご案内いたします。お気にかかることがありましたらおっしゃってください。」
(例2)「今日はご臨席賜りありがとうございます。これから会場まで私がご案内申し上げます。お気づきの点等ございましたらおっしゃっていただければ幸いです。」
- [2](例1)「お客様がお探しのおカバンはどのようなものでしょうか？ 特徴をおっしゃってください。」……「分かりました。見つかりましたらご連絡申し上げますので、連絡先をおっしゃってください。お電話番号、できれば、携帯電話の番号も教えていただければと存じます。」
(例2)「お客様がお探しになっていらっしゃるおカバンはどのようなものでしょうか？ 特徴を教えてくださいませか。」……「分かりました。見つかりましたらご連絡申し上げますので、連絡先を教えてくださいませないでしょうか。お電話番号、できましたら携帯電話の番号も教えていただけるとありがたいのですが。」

基礎ドリル [2] 仮名遣い・漢字と送り仮名 - 解答例 -

- A [1] こづつみ [2] おこづかい
[3] いちじるしい [4] まぢか
[5] うなづく 「現代仮名遣い」では「うなづく」も可
[6] ちぢむ [7] とおり
[8] とうだい [9] わこうど
[10] いきどおる
- B [1] つのる [2] おもむく
[3] おこたらない [4] いしずえ
[5] えつらんしつ [6] かくせい
[7] ひっけい [8] ふんいき
[9] せじょう [10] なだれ
[11] ひるがえす [12] まの当たり
[13] げんち [14] そうさい
[15] はんれい [16] けねん
[17] ふいぜい [18] かわせそうば
[19] ぜんじ [20] あんのん
- C [1] 委嘱 [2] 諮る
[3] 抑揚
[4] 了承 「諒承」(「諒」は常用漢字外)「領承」「領掌」も可
[5] 遂行 [6] 滞る
[7] 紛らわしい [8] 喫茶店
[9] 擁護 [10] 覚悟
[11] 一抹 [12] 衷心
[13] 的確 「てっかく」とも [14] 迅速
[15] 繁盛 [16] 催す
[17] 暖かな [18] 慈しむ
[19] 甚だ [20] 推薦

A

お席	この度は誠にありがとうございます お招きありがとうございます
お席	喜んで出席させていただきます
お住所	茨城県つくば市大田〇〇番地
お名前	大辞林花子

1****	東京都千代田区八崎町 二丁目二十一番十二号
	三省 太郎 様

慶事に出席するときには、御招待の御礼と御祝いの言葉、喜んで出席する旨等を簡潔に書くのが礼儀です。逆に欠席する場合は、差し支えない範囲で欠席する理由を述べ、出席できず残念である旨や御祝いの言葉等を添えるようにしましょう。

- B [1] - 30 歳
[4] - 99 歳
[7] - 50 歳
[10] - 70 歳

- [2] - 60 歳
[5] - 80 歳
[8] - 90 歳
[11] - 40 歳

- [3] - 60 歳
[6] - 88 歳
[9] - 77 歳
[12] - 70 歳

わたしは、成人を 18 歳からにするってという意見に賛成だ。だって、そうす
と なぜなら そのように
ることで、責任ある大人としての自覚が芽生え、成長することに繋がるって考
と
えるから...。
である
自分もそうだけど、周りの友だちなんか見てても、もう大学生なのに、大学
であるが 友人などを いて すでに であるにもかかわらず
生らしい知識や判断力がいまいち足りないみたいに感じる。しかも、そのこと
今ひとつ ように
に気付いてないっぽい人も少なくない。これは、今まで「子ども」という立場
ように見られる
に甘えていた結果だと思います。
思われる
そんな状況を吹っ飛ばすにはどうすればいいのか。
そのような 打開する よい
それには、もっと早く、しかもはっきり「大人」なんだって突きつけられる
そのため より早い段階で であることを
ことが有効だと思います。そのことで、みんなが、自分自身を見つめ、大人とは
考える によって 各人
どのような存在なのかをマジに考えることに繋がるんじゃないかな。
真剣に のではないだろうか
あと、バイトとかボランティアとか、がんがんやる!のもいいだろう。社会
また アルバイトや などに 積極的に取り組むのもよいであろう
と積極的に関わることで、思いやりとか忍耐力もつくし、あの人みたくなりた
や のように
いっていう、理想の大人にも巡り会えるんじゃないかと思う。
と のでは

- A [1] b
[2] c

- B [1] あげくのはて [2] りゅういんをさげる
[3] しがにもかけない [4] ひだりまえになる
[5] どたんば [6] いっしをむくいる
[7] けがのこうみょう [8] でんかのほうとうをぬく
[9] いたけだか [10] うんでいのさ
[11] いしゃのふようじょう [12] きゅうそねこをかむ
[13] ふくすいぼんにかえらず [14] さんぱいきゅうはい
[15] ふぐたいてん [16] ちよくじょうけいこう
[17] じゅんぷうまんぱん [18] しめんそか
[19] こりつむえん [20] ほんまつてんとう
[21] よういしゅうとう

- C [1] 笛ふけども踊らず [2] 火中の栗を拾う
[3] 寸暇を惜しむ [4] 目から鱗が落ちる
[5] 理路整然 [6] 一挙一動
[7] 時期尚早 [8] 臨機応変
[9] 前途多難 [10] 不言実行
[11] 一石二鳥 [12] 首尾一貫

- A [1] この動物は、昼間は暖かいので活動的できないようである。
この動物は、昼間のうち暖かい場合には活動できないようである。
「昼間は活動できない(夜などは活動できる)」と「昼間の中でも暖かい昼間のみ活動できない(暖かくない昼間は活動できる)」との違いが理解できていればよい。
- [2] 犬の子どものうち体重 5Kg 以上のものを選定した。
親の体重が 5 kg 以上の子犬を選定した。
「体重 5 kg 以上」であるのが「犬」なのか「犬の子ども」なのか、という違いが理解できていればよい。
- [3] 鈴木 1987 では全ての火山が危険だと述べているが、実際にはそうではない(安全な火山も存在する)。
鈴木 1987 では、全ての火山が危険なわけではないと述べている。
鈴木 1987 が述べていることについて、「全ての火山が危険だ」という解釈と、「全ての火山が危険なわけではない(安全な火山もある、あるいは危険かどうか分からない火山もある)」という解釈があることを理解できていればよい。「わけではない」が何を否定しているのかの問題である。
- [4] その研究は日本の人口統計を調べただけであり、世界の人口が増えていると主張しているのではない。
その研究では世界の人口が増えていると主張しているが、その根拠は日本の人口統計以外にもある。
「その研究」について、「世界の人口が増えているとは主張していない」という解釈と、「日本の人口統計以外の論拠も提示して、世界の人口が増えていると主張している」という解釈があることを理解できていればよい。この問題も「わけではない」が何を否定しているかという問題である。レポートなどで「わけではない」を使用するときにはこのような点に注意するとよい。
- B [1] 例 1) 犬を飼うときに大切なのは、犬の気持ちになって考えることと、毎日散歩に連れていくことです。
例 2) 犬を飼うときには、犬の気持ちになって考えることと、毎日散歩に連れていくことが大切です。
- [2] 例 1) 私の将来の夢は、医学部に入って一生懸命勉強し、子どもの命を助ける小児科医になることです。
例 2) 私は将来、医学部に入って一生懸命勉強し、子どもの命を助ける小児科医になりたいです。
- [3] 例 1) 昨日から頭が痛くて大変でした。
例 2) 昨日から頭痛で大変でした。
- [4] 自分の将来に役に立つ経験が数多く得られるような、有意義な大学の 4 年間を過ごしてください。
- [5] 例 1) 私の祖父は若い頃にアメリカに渡り、4 年間大学で学びました。
例 2) 私の祖父は若い頃に渡米して、4 年間大学で学びました。
- [6] 昨日は危うく遅刻をするところだったが、急いで準備をして家を出たのでなんとか電車に間に合った。しかし、途中で事故のために電車が止まり、結局授業時刻に間に合わなかった。ところが、事故のせいで先生も遅れてきたのだ。

基礎ドリル [7] 記号の使い方 - 解答例 -

- A [1] 兄は野球が好きで、弟はサッカーが好きだ。
[2] 私は、車に乗って遠ざかる彼女を追いかけた。(車に乗っているのは彼女)
[3] 空欄に
・住所
・氏名
・連絡先
を記入してください。
- B [1] 犬は桃太郎に「お腰につけたきびだんごを1つください」と言いました。
[2] いわゆる「負け犬」という言葉は、あるベストセラーから流行した言葉である。
- C [1] 木村一郎 1997「唱歌におけるスコットランド民謡の影響」『近代歌詞探究』1巻3号、日本近代歌詞調査学会, pp.23-47
[2] 「春が来ると『春はあけぼの』という一節を思い出す」という文で始まる文章を読んだことがある。
- D [1] 国際大会会場
[2] 民主主義
[3] この文献には「漢字の使用については『常用漢字表』によるものとする」という記述がある。

(例1)

《校正する文章》

大学に入り半年がが過ぎようとしている。本当にこれまで
でいろいろなことを経験したけど、何といっても一番象
印深いのは、初めての一人暮らしである。恥ずかしいこ
とに、これまで洗濯や料理などほとんどしたことがなか
った。何とかなるろうと考えていたのだが、大きな誤り
だったのです。

修正記号: 横線、縦線、丸線、矢印、ハシ、クマ、シハシ

(例2)

《校正する文章》

大学に入り半年がが過ぎようとしている。本当にこれまで
でいろいろなことを経験したけど、何といっても一番象
印深いのは、初めての一人暮らしである。恥ずかしいこ
とに、これまで洗濯や料理などほとんどしたことがなか
った。何とかなるろうと考えていたのだが、大きな誤り
だったのです。

修正記号: 横線、縦線、丸線、矢印、ハシ、クマ、シハシ